

## 平成 29 年度の医療ツーリズム推進に関する取組について

### 1 医療ツーリズム推進に向けた提言について

#### (1) あいち医療ツーリズム協議会（仮称）の設置

医療ツーリズム推進の具体的な取組を県内の医療関係者等で協議し、関係者間の連携を図るため、「あいち医療ツーリズム協議会（仮称）」を設置する。

#### (2) 関係機関と官民一体となった医療ツーリズムの推進

関係団体と連携を図り、官民一体となって医療ツーリズム実施医療機関を支援する。

#### (3) 先進事例の情報提供など県内医療機関への医療ツーリズム推進に向けた取組の支援

課題の解決策や具体的な取組について、先進事例を発表するシンポジウムを開催するなど、医療機関の外国人患者受入れが円滑になるよう支援する。

#### (4) 海外への愛知の医療ツーリズムに関する情報発信の強化

認知度を高めるため、医療機関のホームページに多言語での専用サイトの作成や、海外の関係者に愛知の医療を紹介するなどの取組を実施する。

#### (5) 国際医療コーディネーターの活用による円滑な医療ツーリズムの実施

外国人患者を円滑に受入れるため、国際医療コーディネーターを育成・確保し、その活用を図る。

#### (6) 国家戦略特区による規制緩和の活用

医療ツーリズムの妨げとなる規制を緩和し、医療ツーリズム推進の環境を整える。

#### 【国家戦略特区提案内容：医療ツーリズムの推進】

海外からのニーズが高く、日本が国際的優位性を有する医療分野について、日本の医療を迅速に提供するため、できるだけ早期に治療が必要な外国人患者の医療滞在ビザ発給を迅速化する。

### 2 平成 29 年度の取組について

#### (1) あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

外国人患者を円滑に受け入れるための規制緩和や、海外への情報発信、関係者間の連携促進など、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組を協議する。

〈構成団体〉

- ・ 医学部・歯学部を有する大学の附属病院
- ・ 医療職の代表
- ・ 医療ツーリズム実施（予定含む）医療機関等
- ・ 医療ツーリズムに係る団体等

〈開催回数〉 2 回

#### (2) シンポジウムの開催

医療ツーリズム推進に向けた課題の解決策や具体的な取組について先進事例を発表するシンポジウムを開催し、医療機関において外国人患者受入れが円滑になるよう支援するとともに、県内の医療ツーリズム推進の機運を高める。

内 容	演 者
講演 「国際医療展開の現状と展望」	講師（有識者）
パネルディスカッション 「医療ツーリズムの推進について」	ファシリテータ・助言者：有識者 発表者：先進的な医療機関

〈対象者〉 医療ツーリズムを実施する（予定含む）医療機関等関係者  
〈開催回数〉 1 回

#### (3) 国際医療コーディネーターの育成

医療機関で外国人患者の受診環境整備、患者・家族及び医療スタッフの支援を行うコーディネーター業務を担当する人材や、外国人患者に対し受入れ医療機関のマッチングや治療費の支払い代行、通訳派遣、その他患者受入れに関わる一連のサービスを提供できる人材を育成するための研修を実施する。

〈対象者〉 医療機関の職員等 30 名程度  
〈開催回数〉 1 回

### 3 今後のスケジュール

- 平成 29 年 5 月 あいち医療ツーリズム推進協議会（第 1 回）
- 8 月～ 9 月 シンポジウム（1 日）
- 10 月～11 月 国際医療コーディネーター研修（1 日）
- 平成 30 年 1 月～2 月 あいち医療ツーリズム推進協議会（第 2 回）